



## 微笑ましい光景

校長 西尾 武泰

校長室のドアを開けると廊下を挟んで印刷室が見えます。私は基本的に校長室のドアは開けているので、廊下を通る子どもたちの姿がよく見えます。先日、担任が印刷室でプリントを刷るときに、お手伝いをする数名の子どもたちが廊下で待つ姿が見られました。

子どもたちは印刷室を覗き込みながら、「先生。これが印刷機なのですね。大きいなあ。」「この印刷機、値段が高そうだなあ。いくらぐらいするのかなあ。」「ここでお便りなどを印刷しているのだね。」などなど、子どもらしいつぶやきがたくさん聞こえてきます。

担任が印刷機を回し始め、プリントが1枚1枚刷り上がってくると、「わあ、すごく速い。」「印刷したプリントって、こうやって印刷機から出てくるんだあ。」と感嘆の声をあげています。

印刷機はそのまま回り続け、「シュツ」「シュツ」「シュツ」とリズムよく刷り上げていきます。すると、その音に合わせて、一人の子どもが「1・2・3・4・5・・・」と枚数を数え始めると、廊下で待っていた子どもたち全員が「6・7・8・9・10・・・」と声を揃えて数え始めます。皆で数字の大合唱です。

やがて、全員分のプリントが刷り上がると、担任が「印刷が終わりましたよ。では、教室に持って行ってください。」と印刷物を渡しながら伝えると「はい。」と言う返事も全員揃っていました。

印刷物を大切に抱えながら、嬉しそうに担任の後ろについて教室に向かっていく姿が見られたので、私も思わず校長室から出て見送りました。

なんとも微笑ましい光景だったので、今回の学校だよりで紹介しましたが、このように学校では子どもたち同士が小さな発見を共有し、みんなで楽しむ場面に溢れています。授業中は授業中の学びがあり、休み時間には休み時間の気づきがあり、子どもたちは日々成長しています。

10月から後期に入り、21日には運動会が開かれます。今月もたくさんの学びや気づきをし、他者とのより良い関係も築けるように過ごしてほしいと思っています。今月もどうぞよろしくお願いいたします。

